

CVRI Report Vol.7

2006 / 4 / 27

2005年新規公開(IPO)市場の分析(1)

2005年度(2005年1 - 12月)に新規公開した企業は158社で、売り出しと募集を含めた資金吸収額は7186億円(グローバルオファリング分を除き、オーバーアロットメント分を含む)で、新規公開企業の時価総額は4兆3842億円(発行価格ベース)でした。

資金調達額ベースで最大はSUMCOで、1社で1109億円の資金を吸収し、全調達額の15.4%を1社で占めた。時価総額ベースでは博報堂DYHDの9750億円が最大であった。市場順調達額は、東証1部の3170億円を筆頭に、ジャスダック1872億円、東証マザーズ1201億円、とこの3市場で86.9%を占めており、証券市場における「東京一極集中」が見て取れる。

(市場別資金調達額ランキング)

市場名	銘柄数	調達額(億円)	シェア(%)
東証1部	8	3,170	44.1
東証2部	9	285	4.0
東証マザーズ	37	1,201	16.7
Jasdaq	65	1,872	26.1
大証1部	0	0	-
大証2部	1	7	0.1
Hercules	22	475	6.6
名証セントレックス	13	172	2.4
福証Qボード	2	2	0.0
札証アンビシャス	1	2	0.0
合計	158	7,186	100.0

()億円未満を四捨五入

また、会社別調達額ではSUMCOの1109億円を筆頭に、2位ジュピターテレコム761億円、3位東京スター銀行610億円、4位パシフィックゴルフグループ459億円、5位ソニーコミュニケーションネットワーク347億円と続く。注目すべきは3位の東京スター銀行と4位のパシフィックゴルフグループだ。東京スター銀行は旧東京相和銀行が母体で、経営破綻したところを2001年に米国投資ファンドのローンスターグループが400億円で買収して発足した。

本レポートに掲載されております情報は、内容及び正確さに細心の注意を払ひ、万全を期しておりますが、人為的なミスや機械的なミス、調査過程におけるミスなどで誤りがある可能性があります。株式会社企業価値総合研究所では、当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても一切の責任を負うものではありません。

本レポートおよび当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを禁じます。

Copyright (C) CVRI. All Rights Reserved.

一方、パシフィックゴルフグループは経営破綻した日本のゴルフ場を次々に買収することで、国内最大級のゴルフ場チェーンとなった会社である。これも東京スター銀行と同様、ローンスターグループによって設立され、買収を繰り返してできた会社である。

いずれの2社ともに、普通のベンチャー企業には見られない特色があるIPOであった。通常のベンチャー企業が株式公開をする際には、募集が売り出しを上回る傾向が高いが、これがこの2社の株式公開ではこれが逆転している。パシフィックゴルフグループでは調達額のうち募集は15%程度で、東京スター銀行にいたっては募集は「ゼロ」である。つまり、調達額のうち1002億円は株主であるローンスターグループに渡ったことになり、これだけで昨年度の新規公開企業の市場調達額の13.9%を占めている。まさにハイリスク・ハイリターンである。

(資金調達額上位10社)

銘柄コード	銘柄名	調達額(億円)	シェア(%)
3436	SUMCO	1,109	15.4
4817	ジュピターテレコム	761	10.6
8384	東京スター銀行	610	8.5
2466	パシフィックゴルフグループ	459	6.4
3789	コミュニケーションネットワーク	347	4.8
5741	古河スカイ	276	3.8
2433	博報堂 DYHD	273	3.8
3764	アッカ・ネットワークス	191	2.7
8703	カブドットコム証券	180	2.5
5218	オハラ	150	2.1
合 計		4,357	60.6

()億円未満を四捨五入

()調達額はグローバルオファリング分を除き、オーバーアロットメント分を含む

本レポートに掲載されております情報は、内容及び正確さに細心の注意を払い、万全を期しておりますが、人為的なミスや機械的なミス、調査過程におけるミスなどで誤りがある可能性があります。株式会社企業価値総合研究所では、当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても一切の責任を負うものではありません。

本レポートおよび当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを禁じます。